

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年05月25日

計画の名称	山陰海岸ジオパークの多様な地形・地質・風土・人々の暮らしに触れる広域観光活性化計画											
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	兵庫県											
計画の目標	鳥取県・兵庫県・京都府の三府県の日本海沿岸部をエリアとする、世界ジオパークネットワークに加盟の“山陰海岸ジオパーク”圏域では、地質遺産をはじめとした多様な地域資源を保全し、教育・観光・地域産業に活用することで、地域活性化を図る活動が行われている。特に、観光の面においては、山陰海岸地域特有の地質、地形（ジオ）がもたらした、「北前船寄港地」や「棚田」、「温泉」等の多様な文化、産業を実際に五感で体感できるような観光資源として活用し、持続可能な地域社会を目指した活動が行われている。これらの活動に合わせ、拠点施設間のアクセス強化や拠点施設周辺の整備を推進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ることにより、広域的な地域活性化を目指す。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,612	A	5,612	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1		R9末
1	【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】 鳥取県東部地域、兵庫県但馬地域、京都府丹後地域の観光入込客数1,967万人(R1)から2,065万人(R9)に増加 (98万人(5%)の増加) 【鳥取県・兵庫県・京都府 共通目標】観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - R1年度時点の年間観光入込客数) / (R1年度時点の年間観光入込客数)	1967万人	万人	2065万人
2	【兵庫県 単独目標】 但馬地域の観光入込客数941万人(R1)から988万人(R9)に増加(47万人(5%)の増加) 【兵庫県 単独目標】観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - R1年度時点の年間観光入込客数) / (R1年度時点の年間観光入込客数)	941万人	万人	988万人
3	【兵庫県 単独目標】 拠点施設を結ぶ観光ルートにおける1日当たりの総アクセス時間を103時間・台/日(R9)短縮する 【兵庫県 単独目標】拠点施設を結ぶ観光ルートにおける総アクセス時間短縮効果を算出 (アクセス時間短縮効果) = (整備前のアクセス時間 - 整備後のアクセス時間) × 日交通量(H27交通センサス) A11-001,A11-002,A11-003が対象	0時間・台/日	時間・台/日	103時間・台/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
全体事業費に占める効果促進事業費(提案事業)割合は、0%となる。 観光入込客数の当初現況値は新型コロナウイルス流行前の値とする。 その他事項については(参考様式2)整備計画関連事項に記載。														

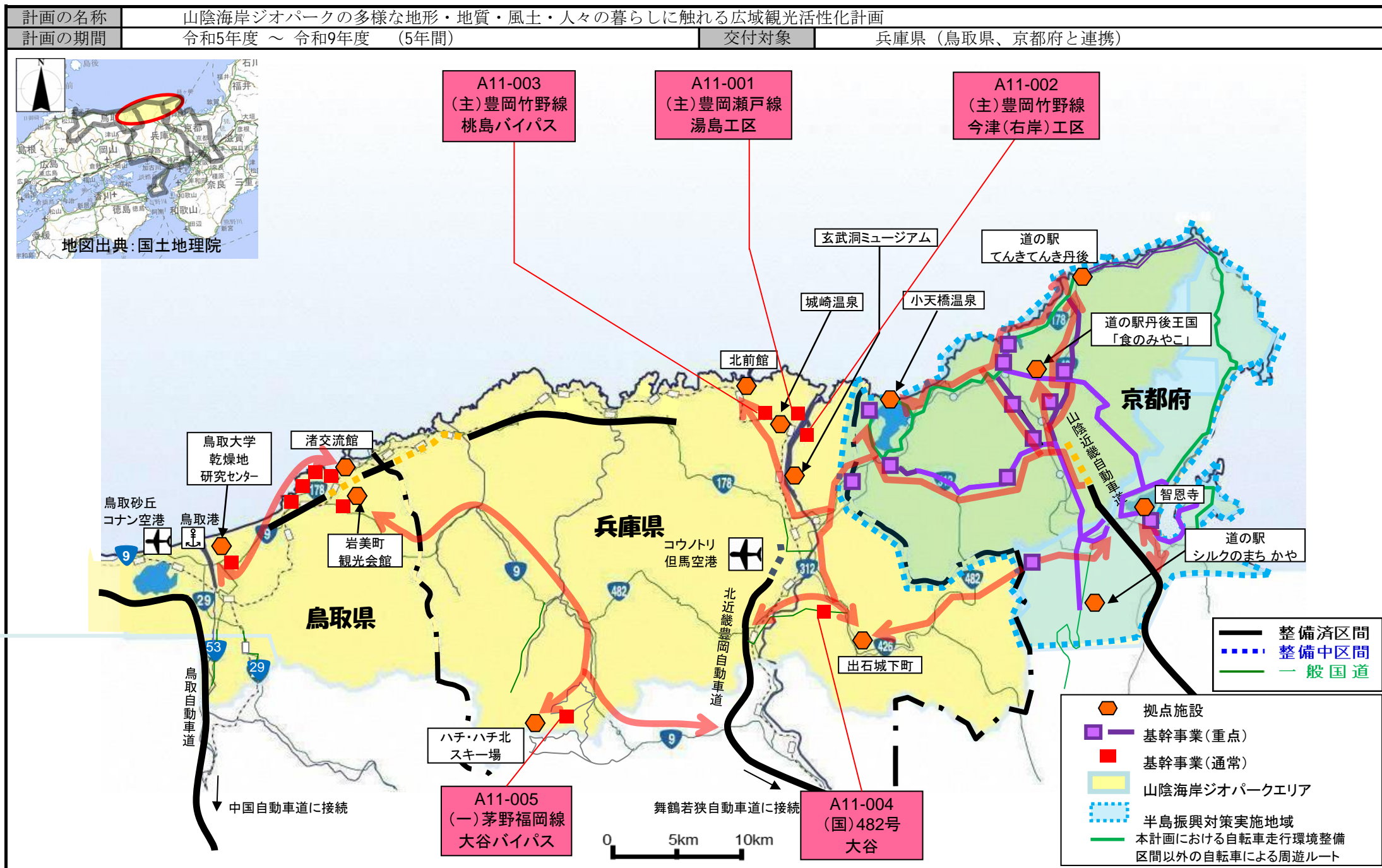
A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主)豊岡瀬戸線 湯島 工区	現道拡幅 L=0.4km	豊岡市						150	1.03	-
	A11-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主)豊岡竹野線 今津 (右岸)工区	バイパス L=1.2km	豊岡市						470	1.03	-
	A11-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主)豊岡竹野線 桃島 バイパス	バイパス L=1.4km	豊岡市						4,300	1.7	-
	A11-004	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	国道	改築	(国)482号 大谷	現道拡幅 L=0.5km	豊岡市						310	2.7	-
	A11-005	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(一)茅野福岡線 大谷 バイパス	バイパス L=0.2km	香美町						382		-
												小計					5,612		
												合計					5,612		

事前評価チェックシート

計画の名称： 山陰海岸ジオパークの多様な地形・地質・風土・人々の暮らしに触れる広域観光活性化計画

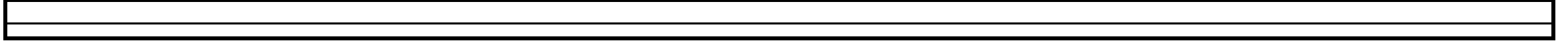
事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

(参考様式) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)



(整備計画関連事項)

計画の評価の実施予定							
事後評価：令和11年10月予定							
	拠点施設	広域的特定活動	重点地区		拠点施設	広域的特定活動	重点地区
①	城崎温泉	観光旅客に対する観光案内、宿泊の提供		⑥			
②	玄武洞ミュージアム	文化的資産の展示		⑦			
③	北前館	地域の固有の自然に関する体験の機会を提供		⑧			
④	出石城下町	観光旅客に対する宿泊その他の役務の提供		⑨			
⑤	ハチ・ハチ北スキー場	地域の固有の自然に関する体験の機会を提供		⑩			
備 考							
連携先都道府県との連携について							
連携方針	京都府、兵庫県、鳥取県にまたがる山陰海岸は自然に恵まれ、また、世界ジオパークネットワークに加盟の“山陰海岸ジオパーク”圏域では、地質遺産をはじめとした多様な地形・風土と人々の暮らしを有する。これらを教育・観光・地域産業に活用し、広域的な周遊観光を強化して地域の活性化を図る。						
推進体制	“山陰海岸ジオパーク”圏域の自治体（京都府、兵庫県、鳥取県、京丹後市、豊岡市、香美町、新温泉町、岩美町、鳥取市）の担当者及び地元観光団体による「山陰海岸ジオパーク推進協議会」を設立（平成19年7月）。						
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民も参加したジオパークの持続可能性確保や将来の方向性を議論する「山陰海岸ジオパークステップアップ会議」を開催 ・ジオパーク全体を案内できるガイドの養成、公認ガイド認定制度を実施 ・訪問者のニーズに合せ、テーマに沿ったルートマップ、モデルコース（散策、ドライブ等）の作成 ・ジオパークを横断（約120km）するロングトレイルコースの設定 ・拠点施設間でPR、イベントの開催（ジオパーク体験クルージング等） 						
整備方針				整備方針に合致する主な事業			
①	拠点施設へのアクセス時間を短縮させ、周遊効率性を高める			A11-001、A11-002、A11-003、A11-004、A11-005			
交付対象事業に関連して実施される主な事業							
・(主)豊岡竹野線 城崎大橋（橋梁架替）（事業主体：兵庫県、事業期間：平成28年～）							
その他							
(広域的地域活性化のために連携して実施する施策)							
・第3次但馬定住自立圏共生ビジョン（計画主体：兵庫県豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町 計画期間：令和4年～令和9年）							
連携内容：近隣市町において必要な生活機能を確保するなど、互いに連携・協力することで、圏域全体の活性化を図る							
・因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏（計画主体：鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八津町、香美町、新温泉町 策定：平成30年（令和2年より香美町含む））							
連携内容：山陰海岸ジオパークを活用した広域観光推進事業や、高次都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図る。							



社会資本整備総合交付金チェックシート

(広域連携事業)

計画の名称：山陰海岸ジオパークの多様な地形・地質・風土・人々の暮らしに触れる広域観光活性化 事業主体名：兵庫県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。 ・国土形成計画(全国計画) ・国土形成計画(広域地方計画)、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ・社会資本整備重点計画 ・環境基本計画 ・その他(※該当するものがあれば記載すること。)	○
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1)広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
2)広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4)拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
2)拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	—
⑥円滑な事業執行の環境	
1)民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○

2)事業実施のための環境整備が図られている。

○

(確認様式1)

交付限度額算定表

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	2,525.4 百万円	規則第17条第1項に基づく交付限度額(Y)	8,399.5 百万円	$X \leq Y$ ゆえ、	本計画における交付限度額	2,525.4 百万円
					交付率	45.0 %
					提案事業比率	0.0 %

規則第17条第1項に基づく限度額算定

S 314 km²

拠点施設を中心とする半径Rの円の面積(πR^2)

π : 3.14

r: 最短距離 7.3

拠点施設から都道府県の境界までの距離 7.3 km

拠点施設から海岸線までの距離 20.1 km

r₀: 10 km

R: $r < r_0$ ゆえ、 10.0 km

T 5 年

当該広域的地域活性化基盤整備計画の計画期間

令和5年度 ~ 令和9年度

C 1,070 万円/km²・年度

単位面積あたり及び単年度あたりの標準的な投資額

行政投資全国実績のうち、都道府県が主体となる交付対象事業に係るものを全国平均で除したもの(最新5箇年の平均)

S × C × T × 0.5 = 8,400 百万円

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	拠点施設関連基盤 施設整備事業(A)	5,612 百万円
	提案事業(B)	百万円
	合計	5,612 百万円

$\alpha 1 = 9(A+B) / 10 =$	5,050.8
$\alpha 2 = 12A / 11 =$	6,122.2
$\alpha 1 < \alpha 2$ ゆえ、交付限度額(X): $\alpha / 2 =$	2525.4 百万円

(確認様式1-1)

rの選定根拠(複数の拠点施設が記載されている場合)

※ 計画に記載された拠点施設から都道府県の境界若しくは海岸線までの最短距離
(複数の拠点施設が記載されている場合は、そのうち最も大きい値)

<選定方法>

- ① 各拠点施設から都道府県の境界までの距離:r1、海岸線までの距離:r2を記入
(〇〇群とした場合は群の中心付近からの距離とする)
- ② 最短距離欄に、r1、r2のうち短い距離を記入
- ③ 最短距離のうち、最も大きい値となる拠点施設からのr1、r2を交付限度額算定表に記載する値として選定

(単位:km)

拠点施設名	①		②
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2	最短距離 (r1、r2のうち 短い距離)
城崎温泉	3.3	4.7	3.3
玄武洞ミュージアム	4.6	6.6	4.6
北前館	9.3	0.0	0.0
出石城下町	7.3	20.1	7.3
ハチ・ハチ北スキー場	6.1	26.5	6.1

※ 選定結果(交付限度額算定表に記載する値)

(単位:km)

拠点施設名	③	
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2
出石城下町	7.3	20.1

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	城崎温泉	所在地	兵庫県豊岡市城崎町
設置主体	旅館・ホテル管理者等	管理・運営主体	旅館・ホテル管理者等
拠点施設の区分	法第2条第2項第2号(一団地の観光施設)	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号ロ(1)
拠点施設データ	観光客数(R1年度) : 827 千人		
拠点施設の整備の有無	無	整備期間	
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <p>城崎温泉には7つの外湯(共同浴場)があるほか、大谿(おおたに)川沿いに宿泊施設や店舗が建ち並ぶ「一団地の観光施設」であり、観光客が浴衣姿でそぞろ歩きをして楽しめる国内有数の観光地(温泉街)である。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <p>当該施設への交通手段はマイカーやバスの利用が一般的であり、「A11-001(主)豊岡瀬戸線 湯島」「A11-002(主)豊岡竹野線 今津(右岸)」「A11-003(主)豊岡竹野線 桃島バイパス」及び別事業で実施される「(主)豊岡竹野線城崎大橋」の整備により、狭隘部が解消され、本拠点施設から「玄武洞ミュージアム」への観光が容易になる。このため、周遊観光の内容が充実し、本拠点施設への観光客増加が図られ、地域活性化に寄与する。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p>城崎温泉では、参加型ローカル体験プログラム『城崎温泉ステキ旅』を新たに始めた。</p> <p>これは、令和2年に開湯1300年を迎えるにあたり、令和元年11月に外国人を含む全てのお客さまに、まちのご案内と旅館の案内をトータルに行える『城崎温泉観光センター』をJR城崎温泉駅前に設置し、観光センターを拠点に、城崎温泉をより深く知っていただき、まちのファンづくりにつなげるために、参加型のローカル体験プログラムを常時受付・開催できる取り組みである。</p> <p>定番ガイドツアー系プログラムは、ほぼ毎日定時にスタートする『城崎温泉まちぶらガイド』、浴衣女性ガイドの案内する『城崎温泉ステキ体験ツアー』は、観光センター公認・城崎案内人など、地元愛溢れる有志がガイドを務めている。</p> <p>また、体験プログラムは、『アクティビティ』『リラックス』『思い出』『学ぶ』『味わう』の5つをテーマとして、地元事業者自らが体験ガイド役を担い、伝統の『麦わら細工体験』など歴史ある温泉地ならではの体験や、お肉やお魚、お酒といったローカルグルメ体験、プロカメラマンによる個人撮影などを行っている。</p> <p>これらの新たな体験型観光による「観光旅客に対する宿泊その他の役務の提供」の推進により、一層の観光客の増加を図る。</p>			

(確認様式2-2)

拠点施設に関する事項(相当数の事業者による事業活動が営まれる拠点施設)

施設名	城崎温泉		
構成施設	所在地	設置主体	管理・運営主体
一の湯	豊岡市城崎町	城崎町湯島財産区	城崎町湯島財産区
御所の湯	豊岡市城崎町	城崎町湯島財産区	城崎町湯島財産区
まんだら湯	豊岡市城崎町	城崎町湯島財産区	城崎町湯島財産区
柳湯	豊岡市城崎町	城崎町湯島財産区	城崎町湯島財産区
地蔵湯	豊岡市城崎町	城崎町湯島財産区	城崎町湯島財産区
鴻の湯	豊岡市城崎町	城崎町湯島財産区	城崎町湯島財産区
さとの湯	豊岡市城崎町	豊岡市	指定管理者:城崎町湯島財産区
木屋町小路	豊岡市城崎町	豊岡市	指定管理者:(株)湯のまち城崎
城崎温泉 旅館 錦水	豊岡市城崎町	城崎温泉 旅館 錦水	城崎温泉 旅館 錦水
城崎温泉 旅館 やなぎ荘	豊岡市城崎町	城崎温泉 旅館 やなぎ荘	城崎温泉 旅館 やなぎ荘
つたや晴嵐亭	豊岡市城崎町	つたや晴嵐亭	つたや晴嵐亭
城崎大会議館	豊岡市城崎町	城崎大会議館	城崎大会議館
西村屋ホテル招月庭	豊岡市城崎町	西村屋ホテル招月庭	西村屋ホテル招月庭
城崎温泉 ときわ別館	豊岡市城崎町	城崎温泉 ときわ別館	城崎温泉 ときわ別館
深山楽亭	豊岡市城崎町	深山楽亭	深山楽亭
つるや	豊岡市城崎町	つるや	つるや
春日屋	豊岡市城崎町	春日屋	春日屋
湯楽	豊岡市城崎町	湯楽	湯楽
つちや	豊岡市城崎町	つちや	つちや
西村屋本館	豊岡市城崎町	西村屋本館	西村屋本館

(確認様式2-2)

千年の湯 古まん	豊岡市城崎町	千年の湯 古まん	千年の湯 古まん
まんだらや	豊岡市城崎町	まんだらや	まんだらや
つたや	豊岡市城崎町	つたや	つたや
三木屋	豊岡市城崎町	三木屋	三木屋
城崎荘	豊岡市城崎町	城崎荘	城崎荘
但馬屋	豊岡市城崎町	但馬屋	但馬屋
喜楽	豊岡市城崎町	喜楽	喜楽
泉都	豊岡市城崎町	泉都	泉都
安田屋	豊岡市城崎町	安田屋	安田屋
大和屋	豊岡市城崎町	大和屋	大和屋
志なのや	豊岡市城崎町	志なのや	志なのや
森津屋	豊岡市城崎町	森津屋	森津屋
みよし	豊岡市城崎町	みよし	みよし
山よし	豊岡市城崎町	山よし	山よし
ゆとうや	豊岡市城崎町	ゆとうや	ゆとうや
まつや	豊岡市城崎町	まつや	まつや
小林屋	豊岡市城崎町	小林屋	小林屋
千年の湯 権左衛門	豊岡市城崎町	千年の湯 権左衛門	千年の湯 権左衛門
新かめや	豊岡市城崎町	新かめや	新かめや
川口屋本館	豊岡市城崎町	川口屋本館	川口屋本館
山本屋	豊岡市城崎町	山本屋	山本屋
月本屋	豊岡市城崎町	月本屋	月本屋
むつのが	豊岡市城崎町	むつのが	むつのが
やなぎ荘	豊岡市城崎町	やなぎ荘	やなぎ荘

(確認様式2-2)

なるや	豊岡市城崎町	なるや	なるや
富士見屋	豊岡市城崎町	富士見屋	富士見屋
月のしずく	豊岡市城崎町	月のしずく	月のしずく
泉翠	豊岡市城崎町	泉翠	泉翠
しののめ荘	豊岡市城崎町	しののめ荘	しののめ荘
錦水	豊岡市城崎町	錦水	錦水
ごちんまり	豊岡市城崎町	ごちんまり	ごちんまり
扇屋	豊岡市城崎町	扇屋	扇屋
緑風閣	豊岡市城崎町	緑風閣	緑風閣
油屋	豊岡市城崎町	油屋	油屋
よしはる	豊岡市城崎町	よしはる	よしはる
丹波屋	豊岡市城崎町	丹波屋	丹波屋
みつわ	豊岡市城崎町	みつわ	みつわ
三國屋	豊岡市城崎町	三國屋	三國屋
赤石屋	豊岡市城崎町	赤石屋	赤石屋
はやかわ	豊岡市城崎町	はやかわ	はやかわ
あさごや	豊岡市城崎町	あさごや	あさごや
つばきの	豊岡市城崎町	つばきの	つばきの
いちだや	豊岡市城崎町	いちだや	いちだや
市松	豊岡市城崎町	市松	市松
和みの宿 おおかわ	豊岡市城崎町	和みの宿 おおかわ	和みの宿 おおかわ
東山荘	豊岡市城崎町	東山荘	東山荘
泉都オータニホテル	豊岡市城崎町	泉都オータニホテル	泉都オータニホテル
川口屋リバーサイドホテル	豊岡市城崎町	川口屋リバーサイドホテル	川口屋リバーサイドホテル

(確認様式2-2)

あさぎり荘	豊岡市城崎町	あさぎり荘	あさぎり荘
大西屋水翔苑	豊岡市城崎町	大西屋水翔苑	大西屋水翔苑
芹	豊岡市城崎町	芹	芹
天望苑	豊岡市城崎町	天望苑	天望苑
白山	豊岡市城崎町	白山	白山
水郷	豊岡市城崎町	水郷	水郷
幸楽園	豊岡市城崎町	幸楽園	幸楽園
城崎温泉観光センター	豊岡市城崎町	豊岡市	城崎温泉旅館協同組合、城崎温泉観光協会、株式会社湯のまち城崎

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	玄武洞ミュージアム	所在地	兵庫県豊岡市赤石
設置主体	株式会社玄武洞観光	管理・運営主体	公益財団法人玄武洞ミュージアム・株式会社玄武洞観光
拠点施設の区分	法第2条第2項第3号(教養文化施設)	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号ロ(2)
拠点施設データ	観光客数(R1年度) : 159 千人		
拠点施設の整備の有無	無	整備期間	
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 国の天然記念物(昭和6年)「玄武洞」がある玄武洞公園に隣接する博物館で、世界中から集められた貴重な岩石・鉱石・化石などが展示され、ジオパークについて学ぶことができる「教養文化施設」である。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該施設への交通手段はマイカーやバスの利用が一般的であり、「A11-001(主)豊岡瀬戸線 湯島」「A11-002(主)豊岡竹野線 今津(右岸)」「A11-003(主)豊岡竹野線 桃島バイパス」及び別事業で実施される「(主)豊岡竹野線城崎大橋」の整備により、狭隘部が解消され、本拠点施設から「城崎温泉」間等の周遊観光ルートが強化され、観光客の増加や拠点施設の活性化が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
玄武洞公園前にある、『玄武洞ミュージアム』が平成30年にリニューアルオープンし、新たに玄武洞の歴史や玄武岩などの石ができる仕組み、日本列島が大陸からわかる過程などを岩石やパネル、映像で紹介するなど、『なぜこのような石が生まれたのか』という疑問を丁寧に解説しており、地球の神秘や山陰海岸で見られる美しい景観の秘密などが分かりやすく学べるよう展示・解説しているほか、水晶やヒスイなどの美しい鉱石や、生命誕生から恐竜で栄えた時代といった地球の歴史を紹介している。また、豊岡特産の杞柳(コリヤナギ)を使った国指定伝統的工芸品『豊岡杞柳細工(きりゅうざいく)』を展示・紹介している。更に、令和4年には玄武洞公園リニューアルし、人間を寄せつけない圧倒的な存在感や迫力をより感じられるように、玄武洞および青龍洞の前に基壇を整備したほか、洞の観覧の際に視界の妨げにならないよう、園路を景観に配慮して明度を抑えた舗装に変更するなど、「文化的資産の展示」に関する取組により地域活性化を促進させることでさらなる観光客増加を図る。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	北前館	所在地	兵庫県豊岡市竹野町
設置主体	豊岡市	管理・運営主体	指定管理者：(株)北前館
拠点施設の区分	省令第3条第2号(体験学習施設)	広域的特定活動の区分	省令第1条第2号
拠点施設データ	観光客数(R1年度)： 86 千人		
拠点施設の整備の有無	無	整備期間	
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 「北前館」は北前船の寄港地として栄えた豊岡市竹野地区の歴史や生活を展示・紹介する「かぜまちミュージアム」を有し、山陰海岸ジオパークの竹野海岸エリアをカヌーで冒険する「たけのジオカヌー」の拠点にもなっている「体験学習施設」である。			
<拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 当該施設への交通手段はマイカーやバスの利用が一般的であり、「A11-003(主)豊岡竹野線 桃島バイパス」を整備することにより、「玄武洞ミュージアム」から拠点施設へのアクセス性が向上するため、観光客増加や拠点施設の活性化が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
当該施設は、北前船と山陰海岸ジオパークの歴史が学習できる施設であり、『かぜまちミュージアム』では1/5スケールの北前船が展示されており、竹野地域の3D模型を活用したプロジェクションマッピングで山陰海岸の歴史を深く学ぶことができるほか、山陰海岸ジオパークの自然を体験できる「たけのジオカヌー」の拠点となっている。 さらに、令和2年にコース設定が完了した全長 230km(鳥取市～京丹後市)の山陰海岸ジオパークトレイルでは当該施設が起点の一つとなったコースが設定されている。当該コースは、美しい白浜のビーチと、リアス海岸の入り江にできた小さな漁村が楽しめるほか、漁村では火山活動が海底で起きた時に出来る緑の岩(グリーンタフ)がはっきりと見ることができる。 これら「地域の固有の自然等に関する体験の機会を提供する活動」に関する取組等を行うことで、県外も含めた更なる集客が見込まれる。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	出石城下町	所在地	兵庫県豊岡市出石町
設置主体	博物館・資料館管理者等	管理・運営主体	博物館・資料館管理者等
拠点施設の区分	法第2条第2項第2号(一団地の観光施設)	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号ロ(1)
拠点施設データ	観光客数(R1年度) : 268 千人		
拠点施設の整備の有無	無	整備期間	
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 「但馬の小京都」とも呼ばれる出石は、昔ながらの城下町の面影が残る美しい町である。歩いて回れる小さな町に、近畿最古の芝居小屋「永楽館」を始めとする建築物や歴史的な街並み、出石焼の窯元、出石そばや但馬牛などの絶品グルメなど、小旅行に嬉しい要素が詰まった「一団地の観光施設」である。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該施設への交通手段はマイカーやバスの利用が一般的であり、「A11-004(国)482号 大谷」を整備することにより、狭隘部が解消され、北近畿豊岡自動車道・日高神鍋高原ICから拠点施設へのアクセス性が向上するため、観光客増加や拠点施設の活性化が図られる。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
地元自治体や町民の出資により、観光事業および商業活性化を担う『株式会社出石まちづくり公社』が設立され、地元の住民やまちづくり会社のスタッフの案内ガイドにより、ほぼ毎日開催するオリジナルツアーや体験プログラムプランを企画している。令和元年10月より、地元で創ったオススメのツアー&ガイドが始まった。 体験プログラムは、レトロな雰囲気が残るまちを着物でめぐるツアーや、「現代の籠=EV CAR」で行くご縁結び・御朱印めぐりのほか、『出石城』や近畿最古の芝居小屋である『永楽館』、国内で2番目に古い時計台『辰鼓楼』など、これこそ出石、と感じる定番スポットを、出石達人ガイドが案内するなど、400年続く小さな城下町の歴史と風情を手軽に深く触れられるものばかりである。 これらのほか、季節ごとや限定企画など出石らしい企画を新たに開始する予定であり、新たな体験型観光による「観光旅客に対する宿泊その他の役務の提供」を推進することで、来訪観光客の滞在時間延長や訪問回数の増加を図る。			

(確認様式2-2)

拠点施設に関する事項(相当数の事業者による事業活動が営まれる拠点施設)

施設名	出石城下町		
構成施設	所在地	設置主体	管理・運営主体
出石城跡	豊岡市出石町	豊岡市	豊岡市
永楽館	豊岡市出石町	豊岡市	出石まちづくり公社
辰鼓楼	豊岡市出石町	豊岡市	豊岡市
出石酒造酒蔵	豊岡市出石町	出石酒造有限公司	出石酒造有限公司
出石歴史文化交流館	豊岡市出石町	豊岡市	豊岡市
出石家老屋敷	豊岡市出石町	豊岡市	NPO法人但馬國出石観光協会
伊藤清永記念館	豊岡市出石町	豊岡市	豊岡市
出石史料館	豊岡市出石町	豊岡市	出石皿そば共同組合
出石明治館	豊岡市出石町	豊岡市	出石ライオンズクラブ

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	ハチ・ハチ北スキー場	所在地	兵庫県美方郡香美町村岡区、養父市丹戸
設置主体	特定不能	管理・運営主体	鉢伏開発観光(株)
拠点施設の区分	省令第3条第2号(体験学習施設)	広域的特定活動の区分	省令第1条第2号
拠点施設データ	観光客数(R1年度) : 161 千人		
拠点施設の整備の有無	無	整備期間	
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画> 当該施設は、氷ノ山後山那岐山国定公園の一角にあり、鉢伏山の一角に古くから拓かれたスキー場である。冬期には、スキー・スノーボードなどのウインタースポーツの拠点となっており、オフシーズンにはパラグライダーや登山、合宿活動(神戸市の小学校からの自然学校等)など一年を通してアウトドアスポーツが満喫できる「体験学習施設」である。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 当該施設への交通手段はマイカーやバスの利用が一般的であり、拠点施設への1次アクセス道路である「A11-005(一)茅野福岡線 大谷バイパス」を整備することにより、大型観光バス等の離合困難箇所が解消し、アクセスが強化され、観光客増加や拠点施設の活性化が図られる。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p>当該施設は、高原であることを活かして冬はスキーやスノーボード、夏にはトレイルラン等を体験する機会を提供している。</p> <p>令和2年には、関西では珍しい雪中キャンプも楽しめるキャンプ場がオープンした。当該キャンプ場では、スキー場のオフシーズンにはハイキングやツリーイング、洞窟探検、そうめん流しといったアクティビティや、ハチ北の朝日を見に行くサンライズツアーなど、多数のプランを新たに提供しているほか、平日はワーケーションにも力を入れている。</p> <p>これら「地域の固有の自然等に関する体験の機会を提供する活動」に関する取組を行うことで、県外も含めた更なる集客が見込まれる。</p>			

(確認様式3)

道路

都市計画道路名又はその他道路名 注1)	番号	区間	道路区分 注2)	事業主体	事業手法 注3)	工種	延長 m	車道幅員		車線数		歩道幅員		交付事業費 百万円	交付事業における事業期間 (年度)	事業内容 注4)	都市計画決定 年月	広域的特定活動に伴う 人流・物流との関係性		整備効果等 注6)	供用等 注7)	備考 注8)
								整備前 m	整備後 m	整備前 車線	整備後 車線	整備前 m	整備後 m					自 (拠点施設)	至 注5)			
<道路>																						
主要地方道 豊岡瀬戸線	A11-001	湯島	地	兵庫県	—	改築	400	4.0	6.5	1.0	2.0	—	片側 2.5	150	R5～R6	路肩拡幅、歩道整備、改良工、舗装工	-	城崎温泉	玄武洞ミュージアム	城崎温泉～玄武洞ミュージアム間の時間短縮(27分→12分)	全線完成供用L=0.4km(R7.3予定)	【現況交通量】9,727台/日 【混雑度】0.79
主要地方道 豊岡竹野線	A11-002	今津(右岸)	地	兵庫県	—	改築	1,200	4.0	6.5	1.0	2.0	—	片側 2.5	470	R5～R6	バイパス整備、改良工、舗装工	-	城崎温泉	玄武洞ミュージアム	城崎温泉～玄武洞ミュージアム間の時間短縮(27分→12分)	全線完成供用L=1.2km(R7.3予定)	【現況交通量】613台/日 【混雑度】0.75
主要地方道 豊岡竹野線	A11-003	桃島バイパス	地	兵庫県	—	改築	1,400	5.5	6.0	1.0	2.0	—	片側 2.5	4,300	R5～R9	バイパス整備、トンネル工、改良工、舗装工	-	城崎温泉	玄武洞ミュージアム・北前館	歩行者の安全確保(温泉街への自動車流入抑制48百台→14百台)	全線完成供用L=1.4km(R10.3予定)	【現況交通量】1,040台/日 【混雑度】0.13
国道482号	A11-004	大谷	国	兵庫県	—	改築	500	4.2	6.0	1.0	2.0	—	片側 2.5	310	R5～R8	路肩拡幅、歩道整備、改良工、舗装工	-	出石城下町	日高神鍋高原IC	幅員狭小(W=4.2m)区間の解消	全線完成供用L=0.5km(R9.3予定)	【現況交通量】5,555台/日 【混雑度】0.72
一般県道 茅野福岡線	A11-005	大谷バイパス	地	兵庫県	—	改築	200	4.0	5.5	1.0	2.0	—	—	382	R5～R7	バイパス整備、橋梁工、改良工、舗装工	-	ハチ・ハチ北スキー場	八鹿氷ノ山IC・岩美IC	幅員狭小(W=4.0m)区間の解消	供用L=0.2km(R8.3予定)	【現況交通量】684台/日 【混雑度】0.10
<空白行>																						
<空白行>																						

(参考)

<関連事業>																					
<空白行>																					
<空白行>																					

※本調書にはア)交付対象事業「道路」(補助国道、地方道、街路)、イ)関連事業の道路のすべてを記載すること。

注1)道路名は、国道、主要地方道、一般都道府県道、市町村道の別が分かるように記載すること。

注2)国、地、街、他の別を記載。ただし、国:国道、地:地方道、街:街路、他:いずれにも該当しないもの。

注3)<関連事業>については、通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注4)施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注5)要素事業毎に、どの拠点施設を経る人流・物流の経路(他の拠点施設、I.C等)途上の事業なのかを明確にすること。

また、別添「確認様式4 道路概要図」に要素事業及び拠点施設の位置関係が分かるように図示すること。

要素事業にはそれぞれ上表の番号(整備計画の番号)を付すこと。また、拠点施設については、それぞれ施設名、所在地、施設数、入込客数などの概要を記載すること。

注6)5で記載した拠点施設間で行われる当該要素事業による整備効果を簡潔に記載すること。記載にあたっては、「所要時間が○分→○分に約○分短縮」、「拠点施設間唯一の線形不良(R<○)の解消」など具体的に記載すること。

注7)当該要素事業の供用等(部分供用含む)を記載すること。記載にあたっては、「全線完成供用L=○m(R○. ○予定)」、「部分供用L=○m(R○. ○目途)」など、供用形態、区間延長、供用時期を記載すること。

注8)備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(台/日)、混雑度等を記載。また、別添「確認様式4 道路概要図」にも主要ポイントの交通量を記載すること(要素事業箇所直近は必須)。

(例)・道路改築:交通量(台/日)、混雑度等 ※交通量は最新のセンサスデータを用いて記載すること。

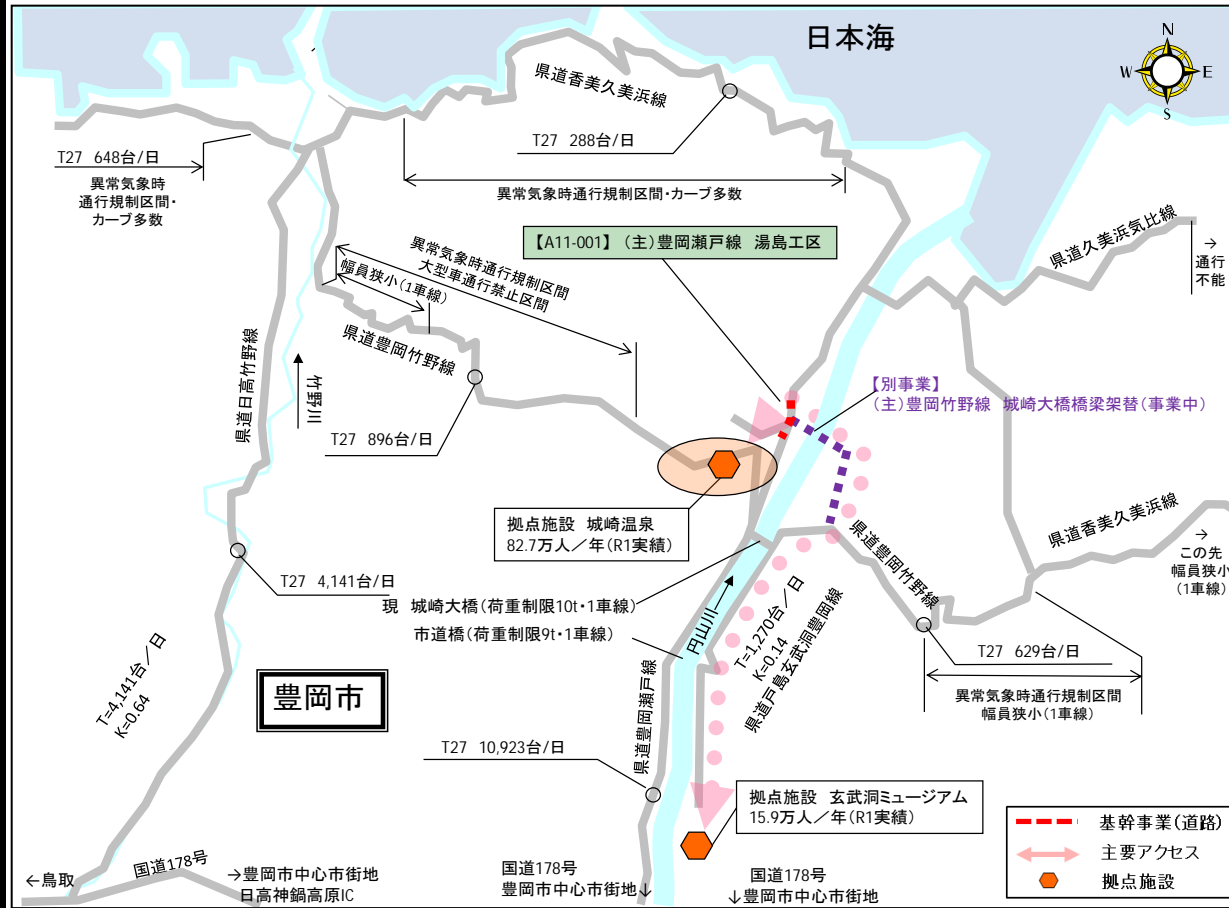
・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

<関連事業>の備考には、当該関連事業と組み合わせて効率的・効果的に実施する交付金事業の道路名・区間についても記載。

※不足する場合は適宜行を追加すること。

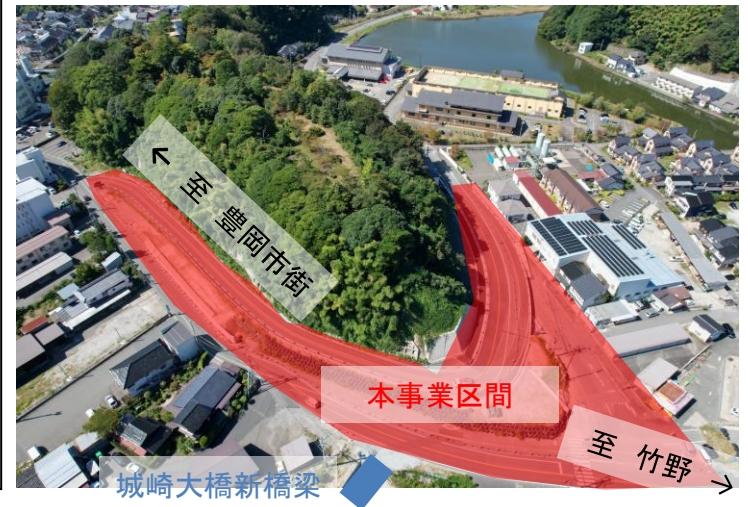
※地域高規格道路、連続立体交差事業等の交付期間(3～5年)内に一定の成果をあげることのできない大規模な事業は、交付対象外。

【A11-001】(主)豊岡瀬戸線 湯島工区(兵庫県) 事業実施箇所図



【課題】

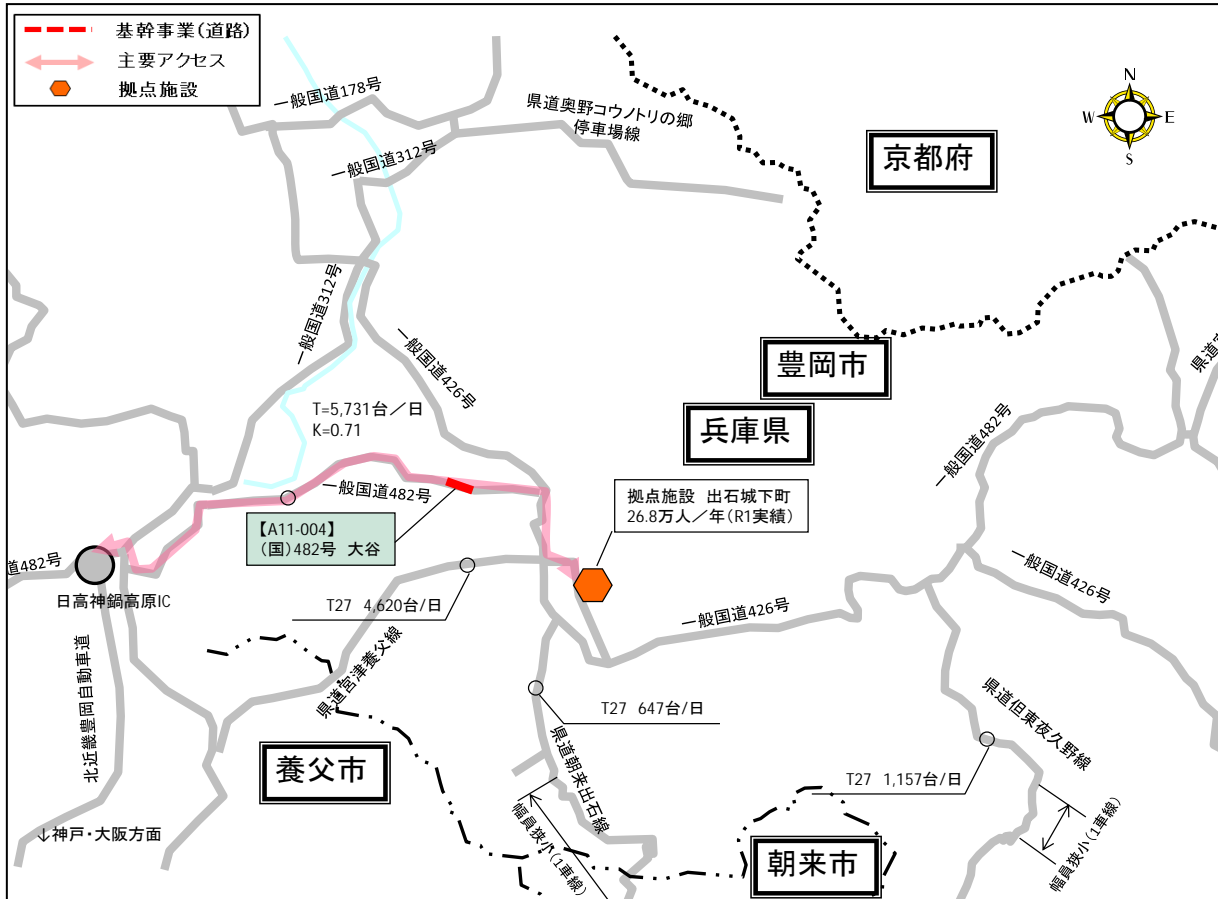
・拠点施設「城崎温泉」から「玄武洞ミュージアム」への最短経路は、(主)豊岡竹野線城崎大橋を通り、円山川右岸側を南下するルートである。しかしながら、城崎大橋は老朽橋で幅員が狭く、大型車の重量制限(10t)を行っており、大型観光バス等は円山川左岸ルートを通り大きく迂回することを余儀なくされている。



【凡例】

- : 広域連携事業
- : 道路事業

【A11-004】(国)482号 大谷(兵庫県) 事業実施箇所図

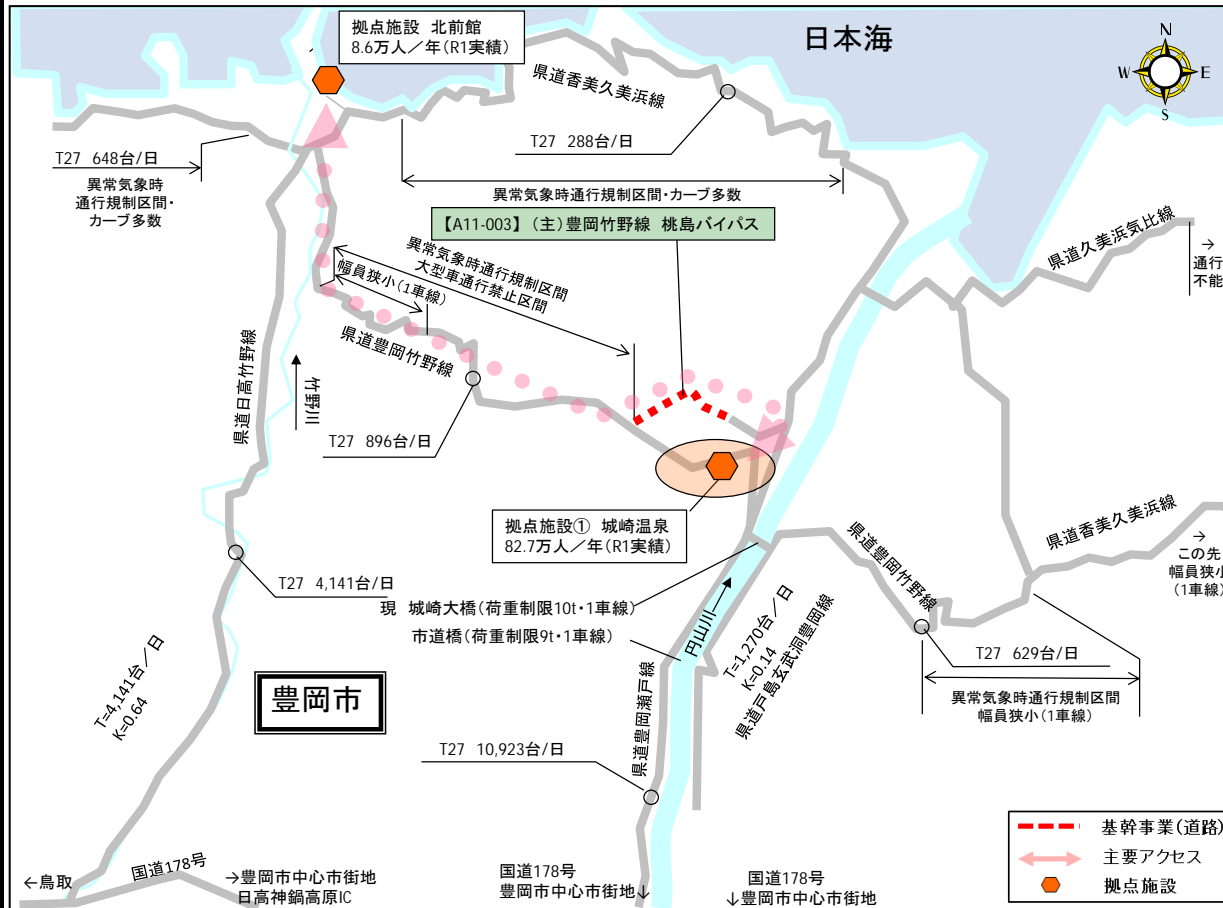


【課題】

・本事業区間は、平成29年3月に開通した北近畿自動車道の日高神鍋高原ICから「出石城跡」等の出石城下町へのアクセス道路であるが、現道は幅員狭小(最小幅員4.2m)であり、大型バス等の離合が困難な状況である。



【A11-003】(主)豊岡竹野線 桃島バイパス(兵庫県) 事業実施箇所図



【課題】

・現道は幅員狭小であり、特に温泉街では流入する自動車の離合が困難となっていることから“そぞろ歩き”をする歩行者の安全性が確保されていない状況である。



山陰海岸ジオパークの多様な地形・地質・風土・人々の暮らしに触れる広域観光活性化計画

計画の概要

鳥取県・兵庫県・京都府の三府県の日本海沿岸部をエリアとする、世界ジオパークネットワークに加盟の「山陰海岸ジオパーク」圏域では、地質遺産をはじめとした多様な地域資源を保全し、教育・観光・地域産業に活用することで、地域活性化を図る活動が行われている。特に、観光の面においては、山陰海岸地域特有の地質、地形(ジオ)がもたらした、「北前船寄港地」や「棚田」、「温泉」等の多様な文化、産業を実際に五感で体感できるような観光資源として活用し、持続可能な地域社会を目指した活動が行われている。これらの活動に合わせ、拠点施設間のアクセス強化や拠点施設周辺の整備を推進し、広く圏域外からの来訪者の増加を図ることにより、広域的な地域活性化を目指す。



計画期間 令和5年度～令和9年度

1. 計画の目標

- 京都府、兵庫県、鳥取県のジオパークエリアにおける観光活性化
- 観光周遊ルートにおけるアクセス時間短縮効果

2. 目標を定量化する主な指標

- (共通目標)山陰海岸ジオパークエリア(鳥取県東部地域、兵庫県但馬地域、京都府丹後地域)の観光入込客数の増加 1,967万人(R1)→2,065万人(R9) [5%増]
 (京都府目標)各拠点施設間の総アクセス時間を52時間・台/日(R9)短縮
 (兵庫県目標)各拠点施設間の総アクセス時間を103時間・台/日(R9)短縮
 (鳥取県目標)各拠点施設間の総アクセス時間を187時間・台/日(R9)短縮

3. 主な事業

- 観光拠点へのアクセスを高めるための道路整備

